


鞍手地区点検評価委員会の意見書

平成26年 8月22日


鞍手町教育委員会 殿

点検評価委員会


委員 福岡教育大学教授

豊為啓司 


委員 宮若市

神谷洋文 

委員 鞍手町

川波英一 

委員 小竹町

高津秀正 

平成25年度の貴教育委員会の運営状況について、点検及び評価をしましたので、別紙のとおり意見を報告いたします。

別紙

	点検及び評価に関する委員会の意見
教育委員会の開催状況	<p>○ 委員会の運営及び委員活動については、概ね良好に実施運営されている。</p>
教育施策の主要施策の状況	<p>○ 福岡県の「ふくおか学力アップ推進事業」について、小学校2校・中学校1校が指定されたが、指定校だけでなく町内全校で取り組みをされていることで良い効果を生み学力アップに繋がっていると思われるので引き続き継続していただきたい。</p>
取組・事業の状況	<p>○ 担任用パソコン導入で、授業改善や通知表・指導要録等を電算化されることで、業務の効率化が図られると思われることから、児童との触れ合いを多くとれるようにしていただきたい。</p> <p>○ 文化財保護団体の活動については、保存会の中には区の取り組みとして、地域の文化財を保存・継承する活動が行われており、今後もこれらの取り組みを支援し継続していただきたい。</p> <p>○ 民俗文化財の担い手の育成について、鞍手町では小学生・中学生の参加による行事の継承が行われており、将来にわたり伝統芸能が引き継がれていくように担い手の育成支援をしていただきたい。</p>

別紙様式 2

平成 2 5 年度 教育委員会点検評価書

	事業の区分	事業の内容及び状況並びに評価									
教育委員会の開催状況	【定例教育委員会】	開催回数 <u>13回</u> 、議案件数 <u>61件</u> (議案内訳) 条例・規則等 <u>3件</u> 、予算案 <u>0件</u> 計画・方針等 <u>34件</u> 、人事案 <u>8件</u> その他 <u>16件</u>									
	【臨時教育委員会】 【その他】	平成 2 6 年 3 月 2 5 日 (案件：人事案件についての審議) 【学校訪問・委員研修会等】 <table border="1" data-bbox="663 831 1316 1077" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>実施回 (日) 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校訪問</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>県□地教委主催研修□</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>総会、入学・卒業式、発表会</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>学校開放</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	実施回 (日) 数	学校訪問	10	県□地教委主催研修□	6	総会、入学・卒業式、発表会	19	学校開放
内 容	実施回 (日) 数										
学校訪問	10										
県□地教委主催研修□	6										
総会、入学・卒業式、発表会	19										
学校開放	4										
教育施策の主要施策	① 学習指導要領の趣旨の徹底と実践に努める	○ すべての小中学校に、「学校関係者評価」「自校評価」を教育委員会に報告させ、点検評価を学校運営に活用している。 ○ 特別支援教育への積極的な取り組みが求められるなか、教育委員会としては、特別支援学級のある小学校 6 校に 9 名、中学校 2 校に 3 名の教育補助員を配置し、年に 3 回野外生活指導として、小中合同で乗馬体験や社会見学及び交流会等を行っている。									
	② 学習指導の充実を図る	○ 小学校では、毎年指定される学校が研究発表を行うことで、児童の基礎学力の向上及び教職員の資質向上の推進に貢献している。また、小・中学校では ALT による英語授業を行っており、児童生徒の基礎学力の向上に繋がっている。 (平成 2 5 年度は西川小学校が発表) ○ 平成 2 3 年度から福岡県の「ふくおか学力アップ推進事業」で西川小学校・新延小学校及び鞍手南中学校の 3 校が 3 年間の指定を受け、それをもとに町内全校で学力アップに取り組みました。指定が平成 2 5 年度で終了しますが、引き続き町内全校で組織的に取り組み学力向上に努めていきます。									

<p>③生徒指導の充実に努める</p>	<p>○ 心の充実を図るため、中学校にスクールカウンセラー及び訪問指導員を配置して、家庭との連携を強化しているが、いじめ、不登校が社会問題化する中で、児童生徒の道徳性の向上等に、より一層の力を注ぐ必要がある。特にいじめ、不登校については定例校長会で議題やその他に毎回取り上げて取り組んでいる。</p>
<p>④健康・安全指導の充実に努める</p>	<p>○ インフルエンザの発生に伴い、児童生徒の健康管理のため、手洗い・うがい・マスク着用の指導を行うと共に消毒液やマスクの配布を行い拡大防止に努めたことで、学校閉鎖には至らなかった。</p>
<p>⑤教職員の研修活動の促進と資質の向上を図る</p>	<p>○ 各小学校において、講師を招いて教職員研修を開催し教職員としての知識・技能習得の向上のための研修を行った。</p>
<p>⑥教職員の職務遂行とサービスの厳正化に努める</p>	<p>○ 校内研修や実践発表等への応募に積極的に取り組んでおり、教師力の向上につながっている。</p>
<p>⑦教育諸条件の整備充実を図る</p>	<p>○ 小学校では、剣南小学校「高圧受電設備改修及び消火ポンプ取替工事」、古月・西川小学校で「体育館床研磨塗装工事」、新延小学校「法面整備工事」及び、各小学校の「水洗トイレ改修工事」、「遊具修繕工事」などを実施。また、小学校・中学校・豊翔館で「受水槽薬注ユニット設置工事」、その外には小・中・高校の緊急的な修繕工事などを施工したことにより、施設環境の整備が図られた。</p> <p>○ 鞍手南・北中学校の統合による鞍手中学校の平成27年4月開校予定の校舎改修等整備工事のうちで校舎の改修、体育館・プールの新設工事に着手し開校に向けて整備しています。</p>
<p>⑧学校週5日制の対応を図る</p>	<p>○ 各小学校区より28名の実行委員が8回の実行委員会を開催し、さまざまな体験型イベントを計画し、「子どもフェスタくらて」で実施した。</p> <p>○ 学校、家庭、地域との連携のために、様々な機会を捉え、広報活動を行っているが、学校・家庭・地域との連携は徐々にとれています。</p>

<p>⑨学校給食の衛生管理と指導の徹底を図る</p>	<p>○ 鞍手町学校給食衛生管理マニュアルを、朝礼・終礼時等様々な機械に再確認・指導を行なった。また、直鞍地区や鞍手地区等で開催されている調理従事者研修にも積極的に参加し、個々の衛生管理意識の向上に努めた。</p> <p>● 児童生徒が望ましい食習慣や生活習慣を確立できるよう、学校における指導を継続するとともに、保護者対象の試食会や講和などをおして家庭との連携を図ることが出来ました。</p>
<p>⑩社会教育振興のための諸機関の完全機能化に努める</p>	<p>○ 啓発活動や講演会等を実施し、男女共同参画社会の実現に向け積極的な取組みを進めることができた。</p> <p>● 厳しい財政事情であるが、公民館等の公共施設は老朽化が進んでおり、地域住民が安心して利用できるように、予算確保の必要がある。</p> <p>○ 現在、講座で使用しているパソコンは、旧型であり、保守点検にも対応できない機種である。また今年4月にウィンドウズ XP のメンテナンスが終了したため、インターネットも使用できない状況である。講習会の受講者も定員に満たない状況が続いていることから、パソコン講習会は廃止の方向性で検討する必要がある。</p>
<p>⑪生涯学習まちづくりの推進に努める</p>	<p>○ 地域公民館の今後のあり方についての情報の共有化を図るため、各自治公民館との連携を促進し研修会や事例発表などを通じて交流を行っており、少しずつではあるがその効果が見られる。なお、公民館祭りでは各種サークル活動の成果が発表された。</p> <p>● 図書カード保有率は、一定の成果は見られるが、少子高齢化が進み図書室を利用している小学生は公民館周辺の一部の小学生のみであり、各小学校と連携して子ども達が積極的に読書を行う意欲を高めることが、今後の課題である。</p> <p>● 子どもの読書を推進するため「くらて子どもの読書活動推進策定計画」の素案を作成した。</p>

<p>⑫ 青少年の健全育成に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携し、青色回転灯防犯パトロール活動や青少年育成講演会の開催など、その他の事業を実施したことにより、青少年健全育成運動の推進を図ることができた。 ○ 地域の子どもの教育力向上、健全育成のため子ども会と保護者が一体となり、自主的に活動を行っており、効果が得られている。 ○ 青少年育成町民会議が主体となって、こども模型飛行機教室を開催し、町内の小学生89名が参加した。
<p>⑬ 生涯スポーツの振興に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットによる施設予約等により、住民サービスの向上につながった。 ● 町民の誰もが参加でき、主体的にスポーツを行える町民体育祭を開催してきたが、昨今出場者が減少傾向にあり、実施内容について今後検討が必要である。 ● 町民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康で楽しく暮らしていけるような施設の提供及び監理運営をしているが、建設年度が進むにつれて、老朽化も進み修理修繕も増大している状態であり、その対応が今後の大きな課題である。
<p>⑭ 豊かな文化的環境づくりに努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 博物館では、3回の企画展を開催した。8月は日本野鳥の会筑豊支部の協力を得て、「写真で謳う野鳥歳時記」、9月には地域の読書グループの支援を受け「グリム童話の世界」、11月には遠賀川流域の炭鉱資料関係者の協力を受け、「記録で観る炭鉱の仕事 - 遠賀川流域・鞍手編 -」を開催し、町内外から約1860人の来館者があった。 ○ 総合的学習の時間を利用し、子ども達が郷土を学び継承することを目的とした学社連携事業として、「鞍手子ども学芸員」事業を実施し、6小学校で延べ654人の児童が参加し、地域の人々と交流を深めることができた。 ● 地域住民に対し、文化及び芸術活動を通じ地域文化の向上と交流を図ってきましたが、少子高齢化が進み、活動が衰退傾向にあるため、若い人材の確保が早急の課題である。

	<p>⑮人権教育・人権啓発の推進強化</p>	<p>○ 小学生・中学生を対象として人権子ども会を実施し、学習や体験活動を通して人権啓発の充実あるものにすることができた。今後も継続していく。</p> <p>● 人権問題地区懇談会は、同和問題をはじめとしたあらゆる差別を根絶するために重要な事業であるが、参加者が減少傾向にあり、開催内容の工夫が必要である。</p>	
<p>取組・事業の状況</p>	<p>主な実施事業</p>	<p>関係総予算額</p>	<p>評 価</p>
	<p>特別支援員 (なかよし学級補佐)</p>	<p>千円 12,480</p>	<p>小学校6校に9名、中学校2校に3名の特別支援員を配置し、支援を要する複数の児童生徒に対し、教育的効果を上げた。</p>
	<p>基礎学力実態調 (小・中)</p>	<p>892</p>	<p>基礎学力の実態調査を行ったことにより、児童生徒の学力の状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立っている。</p>
	<p>国際理解教育 (ALTの雇用)</p>	<p>5,389</p>	<p>小学校及び中学校にALTを派遣することにより、英語に対する基礎学力の向上につながっている。</p>
	<p>図書購入(小・中)</p>	<p>3,626</p>	<p>図書充足率100%を目指して、学校図書の整備を図ることができた。</p>
	<p>スクール アドバイザー派遣</p>	<p>300</p>	<p>小学校6校・中学校2校に対し、各校年2回スクールアドバイザーを派遣しており、児童生徒の問題解決に効果を上げている。</p>
	<p>町研究指定(西川小・ 新延小・室木小)</p>	<p>1,029</p>	<p>毎年指定される学校が研究発表を行うことで、児童の基礎学力の向上及び教職員の資質向上の推進に貢献している。(西川小・研究発表)</p>
<p>扇風機購入 (小・中学校)</p>	<p>451</p>	<p>夏季の気温が異常に高く全国的に児童・生徒が熱中症をおこしていることから、熱中症予防対策として急遽扇風機を購入し各学校に設置した。</p>	

学校教育施設工事 (小・中・高)	23,423	小学校では剣南小学校の高圧受電設備改修及び消火ポンプ取替工事、古月・西川小学校の体育館床研磨塗装工事、小・中学校の水洗トイレ改修工事及び小・中・豊翔館の受水槽薬注ユニット設置工事などを行うことにより、施設環境の整備に努めた。
鞍手町公立学校 耐震診断調査	9,713	剣南・古月・西川・新延小学校の屋内運動場棟耐震診断調査をした。
校舎改築等整備工事 (25年度支出済分)	61,743	平成27年4月開校予定の校舎改築等整備工事着手した。
学校教育施設修繕 (小・中・高)	9,642	小学校6校、中学校2校、豊翔館の施設の修繕を行うことにより、施設環境の整備に努めた。
学校給食共同 調理場運営	32,087	学校給食衛生管理マニュアルを、朝礼・終礼時など様々な機会に再確認し指導をおこなった。また、直鞍地区や鞍手地区などで開催されている調理従事者研修会にも積極的に参加し、個々の衛生管理意識の向上に努めた。
子どもフェスタ くらて	117	子どもたちが企画・運営を行うことにより、一人ひとりの個性が発揮でき、仲間との連帯感が生まれる等、効果が現れている。
社会教育施設修繕	12,152	中央公民館の多目的トイレの改修工事、博物館の多目的室トイレ新設工事、プールの修繕工事等を行い、利用者の利便性を図っているが、施設の老朽化が進み、毎年修繕工事等に取り組み、施設環境の整備に努めた。
施設管理委託	9,126	厳しい財政事情の中、施設委託の経費節減に努める。
文化連盟育成補助	400	町内の芸術文化活動は、ここ数年少子高齢化が進み活動が衰退しており、後継者不足と若い人材の確保が昇給の課題である。

自治公民館育成費補助金	928	急速に少子高齢化が進む自治公民館では、独自に創意工夫し、活性化に努めている。自治公民館は生涯学習を推進するなかで最も身近な活動拠点であり、今後も自治公民館活動を支援していく必要がある。
青少年育成費補助	1,040	地域と学校が連携して行う活動である。今後も継続活動を行う必要がある。
子ども会育成補助	160	子どもが年々減少しているが、時代に対応した子どもの活動にしていくことが必要である。
体育指導員	360	町内の各体育行事の普及活動に尽力していただいております。町民の健康増進の観点からも不可欠な存在である。
町体育協会補助	911	長年続く町内の体育行事に対して、全町民の健康増進のため協力していただいております。不可欠な存在である。
少年スポーツ育成補助	500	町内で活躍するスポーツ団体に支援を行っており、今後においても必要である。
文化財保護団体助成	144	地域の歴史資産や伝統芸能を継承する重要な役割を持っており、今後においても必要な団体である。
人権・同和問題担当者啓発冊子・研修会講師謝金等	1,037	人権問題地区懇談会は、同和問題をはじめとしたあらゆる差別を根絶するために重要な事業であるが、参加者が減少傾向にあり、開催内容の工夫が必要である。
少年期啓発の人権・体験学習活動講師謝金等	816	人権子ども会において、異年齢の子ども同士が人権学習活動・体験学習活動に取り組むことにより少年期の人権啓発が高められた。